

## 会 議 録

会議名 (付属機関等名)		平成29年度第4回川西市図書館協議会	
事務局(担当課)		教育推進部 まなび支援室 中央図書館(内線4581)	
開催日時		平成30年3月16日(金)15時00分～17時10分	
開催場所		アステ市民プラザ ルーム3	
出席者	委員	小林文恵委員、小和田勉委員、森野雄二郎委員、田中里香委員、 秋山洋煥委員、上田章子委員、中村康子委員、八田勇委員、 仲井徳委員	
	事務局	村山中央図書館長、藤本館長補佐	
傍聴の可否		可	傍聴者数
傍聴不可・一部不可の場合は、その理由		0人	
会議次第		1.開会 2.活動報告 (1)図書館ちょこっとボランティア受入 (2)図書館特別整理 (3)その他 3.協議事項 (1)図書館サービスの向上について 4.その他 5.閉会	
会議結果		別紙のとおり	

# 審議経過

平成29年度第4回川西市図書館協議会

## 1. 開会

事務局進行

## 2. 活動報告

(1) 図書館ちょこっとボランティア受入

(2) 図書館特別整理

(3) その他

前回の図書館協議会以降に実施した(1)(2)の事業と平成29年度第2回学校司書研修会への参加について報告した。

## 質問・意見等(要旨)

委員：図書館ちょこっとボランティアの年齢層と男女比はどうなっているか。

事務局：41名が参加、うち男性が3人。年齢は大学生からご高齢の方まで様々である。

委員：川西では、小中学校の学校司書を対象とした学校司書研修会を行ったとのことだが、西宮市立図書館では、高校の学校司書を対象とした図書館の修理の講座を実施した。

委員：横積みの本がまだ残っている。

事務局：順次減らしていく。

委員：書架を高くして、本の収納量を増やせないか。

委員：図書館は見通しを良くして、安全性を高めるため、書架を高くしないのではないか。

事務局：書架を高くする予定はない。書架の増設を図る。

委員：視察に行った三田市立図書館の書架案内板はわかりやすかった。川西でも具体的な表示や分かりやすい表示を取り入れてほしい。

委員：特別整理においては、公民館と連携して、公民館図書室の開室日や開室時間を拡大できれば、図書館の休館期間を延ばすことができ、図書館の大きな改造もできるのではないか。

## 3. 協議事項

(1) 図書館サービスの向上について

事務局より図書館サービスの向上のための四つの視点を提示し、各視点ごとにご意見を述べていただくよう要請した。

図書館職員について

委員：ボランティアへの支援は大切である。図書館ボランティアにも交通費など報酬を払うべきである。

事務局：図書館ちょっとボランティアは無償であるが、おはなしや対面朗読に係るボランティアには交通費相当の報酬をお渡ししている。

委員：三田市立図書館では、職員の3交代制を導入し、週休2日を執行するとともに開館時間の延長や休館日をなくすことを実現している。川西市でもできるのではないかな。

#### 学校や類縁機関との連携について

委員：三田市立図書館が実施している高校生が選んだ本棚づくりは、図書館が高校との連携を深める方法である。

委員：三田市立図書館で活動している三田学園は図書館から近い場所にある。図書館から離れた場所にある高校生が協力することは難しい。また、高校生自身も忙しい。

委員：高校生にPOPなどを作らせるのはいいが、図書の選定は難しい。

委員：図書館からヤングアダルトを対象とした恒常的な情報提供をしてほしい。

委員：小中学校の学校司書に対して図書の選定情報を提供してもらえるとありがたい。

委員：指定管理者制度を導入して学校との連携はできるのかな。

事務局：図書館を管轄する市の部局と学校との連絡調整ができていれば、可能である。

三田市では調べる学習コンクールなど多彩な連携事業を行っている。

委員：展示会に合わせて出張図書館を開くなど、郷土館や文化財資料館と連携してはどうか。

事務局：出張図書館は継続実施している。過去にはみつなかホールなどで行ったこともあるが、現在は、年1～2回程度しか実施していない。

委員：図書館が十分な活動をするには、人が足りないのではないかな。図書館の人手不足が、ボランティア活動の拡大にも影響している。

委員：職員を増やすにはどうしたらいいか、予算を確保するにはどうしたよいか、考えてほしい。補助金の利用やクラウドファンディングによる寄付など考えてほしい。

また、各自治体の事例も調べてほしい。

委員：公民館の図書室担当職員の研修を中央図書館で開くなどして、公民館図書室との連携を深めてはどうか。また、公民館図書室を図書館の分館とすることはできないかな。

事務局：公民館図書室の分館化は図書館と公民館の設置目的が異なるため、すぐには実現することは難しい。

#### 電子図書館等新規サービスについて

委員：電子書籍には、遠隔地に住む人や外出しにくい高齢者にとってありがたい。また、携帯するには便利である。

委員：郷土資料のデジタル化は利用する人にとっておおきなメリットがあるのではないかと。

委員：電子書籍は、これからの時代必要である。図書館は大きな流れにのってほしい。

委員：電子図書館では読む本がないので、魅力を感じない。

委員：三田市立図書館の市民評価の高さは電子図書館を含めたメリットの高さによるのではないかと。

#### 指定管理者制度について

委員：指定管理者の移行した場合、現在の職員は残留するのか。

事務局：嘱託・臨時職員は請負先で雇用する事例もあるが、正職員は残ることはない。

委員：中央図書館には、運営形態を変える前に現状でやるべきことをやってほしい。

委員：直営を続けるには、市民の支持を得ることが必要である。アンケート調査の実施や、市民へのPR活動にも力を入れてほしい。

委員：中央図書館の立地の利便性を活かしてほしい。居場所としての図書館のあり方を考えてほしい。

委員：現在の図書館の現状では、指定管理者制度導入に向かうしかないのではないかと。三田市立図書館の市民アンケートでは9割以上が高評価をしている。

図書館を改革するために指定管理者制度を導入してはどうか。

委員：指定管理者制度ではなく今の状態で続けてほしい。

事務局：これまで三田市への視察も含め、昨年より9カ月にわたり協議していただき、感謝している。これまでの審議内容を協議会意見として、協議会会長と副会長に集約いただくようお願いする。

#### 4. その他

連絡事項等なし

#### 6. 閉会

以上

資料については、市政情報コーナーに設置しています。